

環境方針：事業活動と自然との調和共生

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器&デジタル家電のリーディングカンパニーとして情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や製品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

環境行動方針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
2. 環境関連法規制、業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
3. 社外の環境保護・保全活動・行事への協力・支援を通じ社会貢献に努める
4. 環境目標を定め、これを見直しながら以下の活動を推進する
 - (1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める
 - (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する
 - (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める
 - (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める
 - (5) 環境に関する情報開示に努める
5. 当環境方針は、全従業員及び当社の為に働く全ての人に周知し、また、社外にも公開する

2009年7月

環境目標と実績

分類	環境方針	部門別目標	目標	実績	評価	
環境目的・環境目標に関する活動	(1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。	PCGL2010の環境性能ランク「☆☆☆」を取得製品使用を1製品以上開発する。	＜対象製品カテゴリ＞ 液晶ディスプレイ	1製品以上	1製品	😊
		チューナー付製品を開発する場合に多段階評価ラベル「☆☆☆」以上を取得する。		「☆☆☆☆」以上を取得	1製品	😊
		新規ディスプレイ製品において、エナジースターV5.0取得率を期末までに80%以上とする。 ※除外製品 3Dなどの特殊機能を備え、その機能により消費電力が増加するモニターや大型モニター、ACアダプター採用製品でエネルギー効率規制レベルIV品は除外とする。		80%以上	100%	😊
		新製品の単位あたり梱包材質量の削減に取り組む。単位あたり質量は平均2gを目標とする。	＜対象カテゴリ＞ 液晶ディスプレイ メモリーモジュール USBメモリー、メモリーカード	平均2g	平均1.09g	😊
		36期起案製品に関して、既存製品よりも「低消費電力」、「小型」、「軽量」となる製品、または「省電力モード」を搭載した製品を60%開発する。(容量追加はカウント対象外とする)	＜対象製品カテゴリ＞ スイッチングハブ	60%	64%	😊
		当社製品環境アセスメント基準の製品本体に関する項目を4つ以上クリアする。 ※ただし、新規開発製品のみとする。	＜対象カテゴリ＞ ハードディスク、ネットワーク ブルーレイ・DVD キャプチャー・グラフィック	平均4項目クリア	平均4項目クリア	😊
		機構、包装設計における、3Rを軸とした、環境配慮設計の調査結果からチェックリストを正式リリースし、機構設計基準書、一般包装設計基準書及び製品環境アセスメント基準書を改版と教育。		100%	100%	😊
	(2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。	電気・灯油の使用量を基準値よりCO2換算で12.0%削減する。 <small>＜基準値＞ (本社・第2ビル・31期実績値) + (アイオーラボラトリ・35期実績値)</small>	12.0%	13.4%	😊	
		環境配慮したシステム設計・導入、運用変更を行う。(年3件)	3件	3件	😊	
	(3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。	廃棄物を削減するため、廃棄物の総排出量を35期比25%削減する。	25%	25.6%	😊	
		社内不要物を買取業者に払出しする事で、本社ビルからの機械類廃棄を低減する。質量ベースで33期比50%減。	50%削減	78.6%削減	😊	
	(4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。	組替オーダーの件数及び対象個数を35期結果の5%減とする。 ※名入れ、不具合の組替を除く。	5%削減	26%削減	😊	
		(5) 環境に関する情報開示に努める。	各課で計画する新製品(リテール)の営業/顧客向け製品プレゼン資料(出荷月内に準備)へ、「売り」となる環境訴求を1ページ記載できる製品数を累計30%用意する。 <small>＜対象カテゴリ＞ ブルーレイ・DVD キャプチャー・グラフィック</small>	30%	56%	😊
	環境報告書の公開など環境側面PRを年間3件行う。また、事業戦略部と連携して年間2件の環境側面の情報公開を行う。		3件	3件	😊	
	環境側面のPRとなる事項を開発から情報をとり、広報販推部にその情報を提供する。年間2件行う。		2件	2件	😊	

【総評】36期は設計開発による環境配慮設計に加え、製品コンセプトに省エネなどの機能をお客様に訴求する取り組みが多くできました。また、廃棄物を削減するために、以前より機械類を資源として再利用していますが、木製パレットも再利用が可能となり、有効活用することができました。全社的な取り組みとして、節電、省エネについて社員への啓蒙活動を行うことによりCO2の削減目標も達成できましたが、更なる意識向上のためには、具体的な指導を行うなどの工夫をもっと行っていく必要があります。目標はすべて達成できましたが、新たな課題も踏まえ、更にステップアップした目標に取り組んでいきたいと考えています。